

2024 年度 事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

【1】 図書館振興助成事業

(1)2024年度公募・実施概要

選考委員会において下記の 4 分野を対象に助成することを決定した。

- ① 図書館運営に対する助成
- ② これからの図書館のあり方に関する調査・研究およびその実践・実験に対する助成
- ③ 図書館をはじめとする文化・教育資源保有施設が所有するコレクションの活用を推進する事業に対する助成
- ④ 「調べる学習」「読書活動」を推進する学校図書館に対する助成

公募期間： 2023 年 9 月 15 日～10 月 27 日

選考時期： 一次審査 2023 年 12 月 11 日(オンラインにより実施)

二次審査 2024 年 1 月 22 日(同上)

助成開始： 2024 年 4 月以降

助成件数および助成金額： 23 件の応募があり、内 12 件に総額 44,825,287 円を助成。

資料 1:2024 年度振興助成事業助成先一覧

(2)2025 年度公募・実施概要

2024 年度中に選考委員会において下記の 4 分野を対象に助成することを決定した。

- ① 図書館運営に対する助成
- ② これからの図書館のあり方に関する調査・研究およびその実践・実験に対する助成
- ③ 図書館をはじめとする文化・教育資源保有施設が所有するコレクションの活用を推進する事業に対する助成
- ④ 「調べる学習」「読書活動」を推進する学校図書館に対する助成

公募期間： 2024 年 9 月 13 日～10 月 25 日

選考時期： 一次審査 2024 年 12 月 10 日(オンラインにより実施)

二次審査 2025 年 1 月 18 日(対面とオンラインの併用により実施)

助成開始： 2025 年 4 月以降

助成件数および助成金額： 23 件の応募があり、内 8 件に総額 26,372,555 円を助成決定したが、2025 年 3 月に 1 件辞退があったため、7 件に総額 22,372,555 円助成。

資料 2:2025 年度振興助成事業助成先一覧

(3)2023 年度助成事業の成果報告

機関誌『図書館の学校』において各事業成果を報告した。

【2】図書館利用促進事業

(1)「図書館を使った調べる学習コンクール®」の実施

①図書館の利用促進と調べる学習の普及を目的とする、第28回「図書館を使った調べる学習コンクール®」を下記要領にて開催した。

資料3:図書館を使った調べる学習コンクール®第28回結果報告

応募作品数:123,604 作品<2023 年度 118,605 作品>

地域コンクール開催:167 団体(41 都道府県)<2023 年度 161 団体(40 都道府県)>

地域コンクール開催募集期間:2024 年 4 月 1 日～2024 年 5 月 31 日

全国コンクール実施概要

募集作品:調べる学習部門

公共図書館や学校図書館を使って調べまとめた作品。テーマは自由
調べる学習指導・支援部門

図書館を使った調べる学習の指導・支援の実践をまとめた作品

募集部門:調べる学習部門(小学生の部・中学生の部・高校生の部・大人の部・
子どもと大人の部)

調べる学習指導・支援部門

募集期間:2024 年 9 月 9 日～10 月 7 日

「地域コンクール」を開催していない地域からの応募作品を図書館振興財団で受け付けた。

結果発表:2025 年 1 月 16 日 図書館振興財団ホームページ上にて公開

表彰式/懇親会:2025 年 3 月 8 日

会場:上野精養軒(東京都台東区)

文部科学大臣賞、観光庁長官賞、「2030 生物多様性枠組実現日本会議」賞、優秀賞、総務大臣賞、図書館を使った調べる学習活動賞を受賞した個人・団体を表彰した。

表彰式は3月21日より4月末まで YouTube にて関係者へ限定公開を行い、関係者約 251 名が視聴した。(4月15日現在)

賞(作品数):文部科学大臣賞(6)、観光庁長官賞(1)、「2030 生物多様性枠組実現日本会議」賞(1)、優秀賞(24)、優良賞(139)、奨励賞(275)、佳作(1385)

(地域コンクール数): 総務大臣賞(1 団体)、図書館を使った調べる学習活動賞(2 団体)

後援団体: 文部科学省／観光庁／環境省／総務省／2030 生物多様性枠組実現日本会議／東京都教育委員会／一般財団法人日本児童教育振興財団／公益財団法人海外子女教育振興財団／公益財団法人大宅壮一文庫／公益社団法人日本図書館協会／公益社団法人読書推進運動協議会／日本児童図書出版協会／読売新聞社／活字文

化推進会議／毎日新聞社／日本教育新聞社／株式会社教育新聞社／一般社団法人全私学新聞／株式会社教育家庭新聞社／NHK
協賛団体： 大日本印刷株式会社／丸善雄松堂株式会社／株式会社図書館流通センター／カーリル／株式会社丸善ジュンク堂書店

②2023 年度(第 27 回)の入賞作品(33 作品、3 団体)を、機関誌『図書館の学校』および当財団ホームページ等で紹介した。また、文部科学大臣賞、観光庁長官賞、「2030 生物多様性枠組実現日本会議」賞等を受賞した 7 作品をホームページで全ページ公開するとともにレプリカを 580 セット作成し、利用申請した個人・団体に無償で提供した。

③「図書館を使った調べる学習コンクール」を一定地域内で開催する「地域コンクール」を募集し、増やすために関心地域への資料送付や研修用 DVD の貸し出しなどの推進活動を行った。

④コンクールの主旨と合致する他者の事業を支援する活動を行った。(後援等)

⑤ 調べる学習指導者による講座・研修等
自治体等の要望に応じ、図書館振興財団講師が各地の講座・研修(40 件)に携わり、調べる学習のさらなる推進を図った。

(2)選書事業

・選書事業実施概要

図書館にふさわしい図書を選書することを目的に、下記 2 分野について各々選書員を設定し、選書を依頼している。

- ① 公共図書館用新刊選書
- ② 専門書・学術書選書

選書結果を当財団のホームページにおいて公表。遡及分については検索を可能としている。

(3)友の会「図書館の学校」の運営

当財団の事業への支援を目的に、友の会「図書館の学校」の運営を行った。2024 年度の新規入会者数は 43(個人 34／団体 9)・43 口で、2024 年 3 月末現在の会員数は 636(個人 362／団体 274)・984 口となった。

【3】 図書館活性化事業

(1)機関誌発行事業

機関誌『図書館の学校』を、当財団の事業の周知を目的に、事業案内・成果等を掲載

するのと同時に、図書館利用者に図書館は楽しく役立つ所、といったことを伝えることを目的に編集し、年 4 回発行した。

配布方法：当財団の友の会「図書館の学校」の会員に配布、その他は 1 号当たり頒価 1,000 円+税で提供。

(2)「図書館総合展 2024」への参画

財団活動事業全般の理解を広めるとともに、図書館振興への社会的関心を高める広報活動として、2024 年 11 月 5 日・6 日・7 日開催の第 26 回「図書館総合展 2024」において、ブース出展を行った。

そのほか 5 月 18 日「図書館総合展2024フォーラム in 昭島」、9月20日「図書館総合展フォーラム in 行橋」にそれぞれブース出展し、またイベントして「昭島市民図書館を使った探究学習体験講座」「リブリオ行橋(行橋市図書館)を使った探究学習体験講座」を実施した。

(3)研修事業

研修事業は、研修内容等についての課題を検討する期間とした。

(4)提案型助成事業

図書館振興に関する提案型助成事業

・公募・実施概要

郷土資料等のデジタル化による新たな図書館サービスの構築を目的に、株式会社図書館流通センターからの寄付金 1 億円を基金として、提案型助成事業として公募を行い、財団における審査を経て下記の2分野を対象に助成を実施した。

- ①「郷土(地域)資料」「貴重資料等」のデジタル化に伴うデジタルデータの公開事業
- ② 上記①のデジタルデータの利活用事業

公募期間：2024 年 6 月 17 日～9 月 24 日

選考時期：一次審査 2024 年 10 月 23 日(オンラインにより実施)

二次審査・最終審査 2024 年 11 月 21 日(対面とオンラインの併用により実施)

助成開始：2025 年 1 月以降

助成件数および助成金額：13 件の応募があり、内 9 件に
総額 53,135,532 円を助成。

資料 4:2024 年度提案型助成事業助成先一覧

(5)調査研究事業

2023 年度は、調査研究に値する現状及び課題を検討する期間とした。

【4】不動産の貸付に関する事業

公益目的事業の推進に資するために行う不動産の貸付に関する事業を実施した。

以上

2024 年度事業報告 附属明細書

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。